



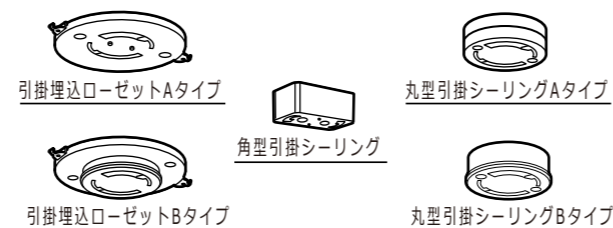
## 器具の取付方法

## 1 天井の配線器具を確認する。必ず電源を切ってください。

**注意** 天井にシーリングコンセントが付いていない場合、電気工事店に取り付けを依頼してください。

**注意** 作業をする際は、必ず壁の電源を切った状態で安全に行ってください。

【取付可能な配線器具】

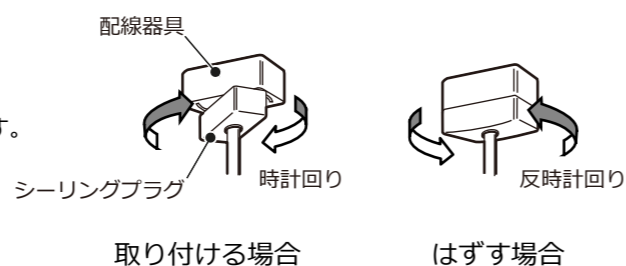


## 2 配線器具に取り付ける。

①シーリングプラグを配線器具にまっすぐ差し込み、時計回りにカチッと音がするまで回してください。

**注意** 曲がった状態で無理に差し込みますと破損の原因となります。

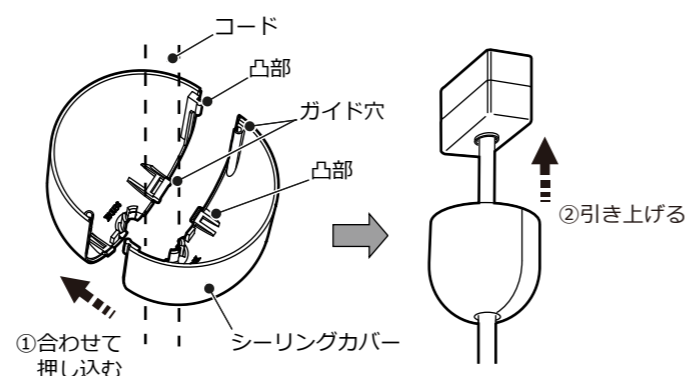
②取り外す時は、反時計回りに回してはずしてください。



## 3 シーリングカバーを取り付ける。

①シーリングカバー2枚の間にコードを通しカバーの上下のガイド穴の中にそれぞれカバーの凸部を入れ強く押し込んでカバー2枚を嵌合させてください。

②シーリングカバーを引き上げてシーリングプラグを隠してください。  
(シーリングカバーが必要ない方は4へお進みください。)



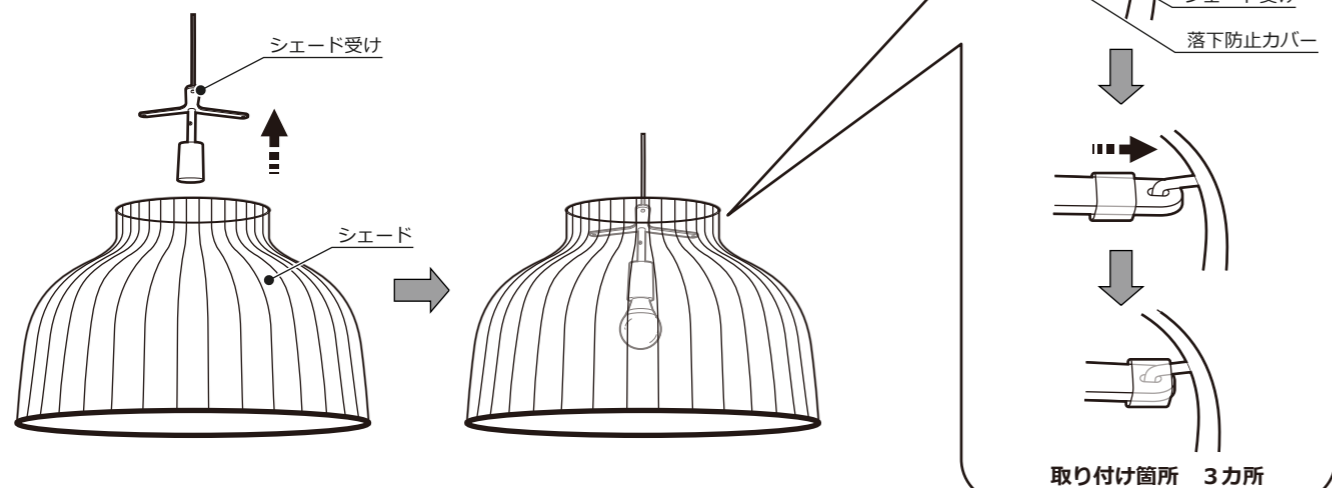
## 4 シェードを取り付ける。

①図のようにシェードを下側から持ち上げます。

②シェード天井側についている3カ所のガイドピンをシェード受けの穴に入れます。

③シェード受けについている落下防止カバーをスライドさせガイドピンを固定します。

**禁止** 設置後、シェードを持ち上げないでください。ガイドピンが外れシェードが落下する恐れがあります。



## 5 ランプを取り付ける。

①シェード内のソケットを持ってランプを時計回りにまわしてください。

②取りはずす時は、反時計回りにまわしてください。

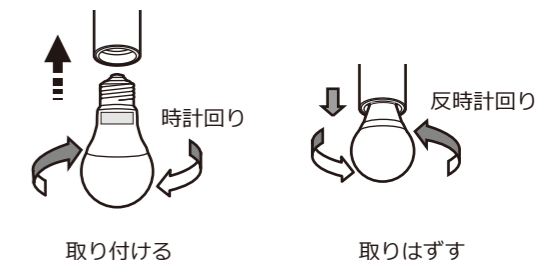
**注意** 必ず適合ランプをご使用ください。白熱電球・蛍光灯はご使用になれません。火災の恐れがあります。

**注意** ランプの交換は、必ず電源を切った状態で行ってください。感電の恐れがあります。また、消灯直後は器具が熱くなっており、やけどの原因となりますので時間が経ち器具が冷めてからランプの交換を行ってください。

**注意** ランプにも寿命がございます。切れていなくても定格寿命を超えた場合にはご交換をお奨めいたします。

## 6 点灯の確認をします。

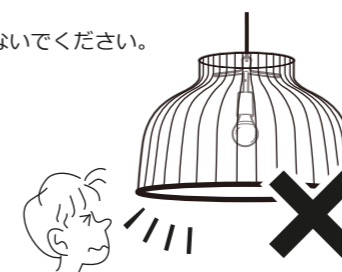
①壁スイッチ等で入り切りするごとに、点灯/消灯を繰り返します。



【適合ランプ】  
LEDランプ：10Wまで  
品番：SWBランプ（専用）

## ご使用方法の注意点

**禁止** 安全上、光源部を直視しないでください。



**禁止** 器具を分解したり・改造することはお止め下さい。故障・破損・感電・火災の原因となります。万が一、不具合が生じた場合は速やかに修理のご依頼をお願いします。

**禁止** ソケット内に金属などの導電性異物を差し込まないでください。発熱、発火、破裂、液漏れ、感電、故障の原因となります。

**禁止** ソケットに異物やほこりが付着した状態で使用しないでください。器具の発火、感電、故障の原因となります。

**禁止** 器具を濡らしたり、水気が多い場所で使用しないでください。器具の故障・破損・感電・火災の原因となります。

**禁止** 温泉地等の腐食性ガスが発生する場所や、海上・臨海部等の岩礁・隣接地、塩素を使用するプール付近ではご使用出来ません。

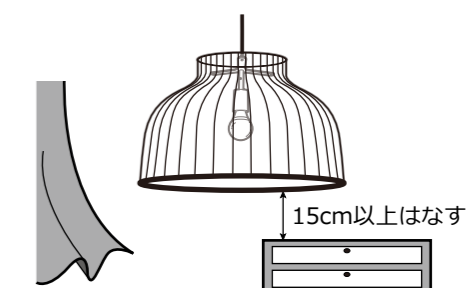
**禁止** 高温高湿になる場所での使用はおやめください。器具の劣化による破損や故障、漏電の原因となります。

**禁止** セードやコードにぶら下がらないでください。特に小さなお子様がいいらっしゃるご家庭では、保護者の方のご注意をお願いします。配線器具の脱落や電源コードが断線して器具が落下した場合、ケガ、家財の損傷、器具の破損や火災の原因となります。



**禁止** 本器具は屋内専用器具です。屋外での使用や油、シンナーが付着したまま使用しないでください。割れが発生して落下した場合、火傷、ケガ、火災、故障の原因となります。

**禁止** カーテンなど、可燃物の近くで使用しないでください。火災の原因となります。また点灯中や消灯直後はセードが熱くなっていますのでさわらないでください。



**注意** 点灯時は、ランプを必ず物から15cm以上はなしてご使用ください。近づけ過ぎると火災の原因となります。

**注意** 表示された電源電圧(AC100V)、周波数(50/60Hz)以外で使用しないでください。

**注意** ご使用中は、器具が温くなる場合がございますが異常ではありません。

**注意** 掃除する際は、必ず乾いた布で拭き、水や洗剤等は使用しないでください。器具の故障・破損・感電・火災の原因となります。

**注意** 器具を安全にご使用いただくため、定期的な清掃・点検を行ってください。